

農協と組合員をつなぐ広報誌

なかしゅんぱ



青空のもと「豊原運動会」が5月28日(土)に行われました

地域をあげての運動会とあって園児たちから年輩の方まで
が参加でき、楽しめる趣向を凝らしたプログラムに終始、笑い
声と声援が響きわたり豊原地域を元気にしました



7月号

2016 Vol. 462

地域農業振興計画と 未来ある地域づくり活動の実践

第42回中春別農業協同組合通常総会が6月7日(火)、農業者
団地センターで開催されました。

総会に先立ち優良組合員、
乳質改善・良質乳生産組合
員、経営移譲感謝状授与者、
永年勤続職員の表彰授与が
行われました。

総会にあたり小湊組合長
より「熊本地震の被災から
2カ月近く経とうとしてお
りませんが、あらためて甚大
な被害を受けられました被
災地の皆様方に対し、心よ
りお見舞いを申し上げます
とともに多数の尊い人命が
失われ、亡くなられた方々
に対しまして謹んで哀悼の
意を表します。今後におい
て満身創痍の被災地が1日
も早い復旧と、そして、新た
な復興を遂げられることを
祈念する次第でございます。
さて、我が国の近況であ



小湊組合長が抱負と挨拶の会開

りますが、我が国の経済は
雇用環境や非製造業を中心

とした企業収益は改善して
いるものの、個人消費には弱
さが見られ、内需の不振を
主要因に停滞基調にあり、
原油価格・為替変動・マイナ
ス金利政策の
導入など景
気動向に注視
が必要です。

農業を取
り巻く環境で
すが、昨年10
月に開催され
たTPP閣僚
会合において
大筋合意され、
本年2月には
参加表明国に
よる協定の署
名が行われた
事に、強い憤
りを覚えると
ころであります。



TPPから北海道農業・地域社会及び国民の命と暮らしを守る

本日、本総会の中で「TPPから北海道農業・地域社会及び国民の命と暮らしを守る」決議を提案させていただきますが、合意内容の

全容と影響、更には国会決議との整合性についての説明責任を果たすとともに、生産者の不安を払拭し、持続可能な恒久対策や予算措置を求めるものであります。また、農協改革は昨年8



議長に美原地区・浮川優氏、中春別地区・高橋真悟氏が指名されました

月に「改正農協法」が成立し、本年4月より施行され今後、更に准組合員事業利用規制など見極める期間を経て結論を得ることとなっております。

また、政府の規制改革会議は、指定生乳生産者団体

制度に関する答申案を示し、同制度の是非や、現行の加工原料乳生産者補給金の交付対象の在り方を含む「抜本改革」を検討し、秋までには結論を得る方向となっております。指定団体廃止論が浮上されておりあります。

これにつきましては、本日、本総会の中で「指定団体制度の機能を維持する」提案を致しまして、安定的な生乳流通と需給調整機能、更には乳業者との価格交渉力維持のためにも決議をお願いするものであります。

こうした中、本年度の加工原料乳生産者補給金単価

は、関連対策を含め13円43銭となり、交付対象数量は現行維持の178万トン、チーズ向けは52万トンで決定されておりあります。また、新規に創設された仔牛の損耗防止対策、発育向上対策等、併せまして総額32億円が措置されました。用途別乳価

につきましては全用途据置きとなりましたが、仕向け量の調整等で20銭の引き上げが見込まれております。今後に向けては、生クリーム等を含めた加工補給金の一本化が必要と認識しております。

昨年度、当地区は収穫期



佐藤専務理事より組合員のみな様へ説明がされました

の一番草は比較的、天候に恵まれ早くに終了したところでございます。ですが、二番草収穫期は不順な天候が続きました。収穫作業は苦勞をしましたが、場所によっては量質的にも昨年並以上に終了しております。

しかしながら、厳冬期における幾度の暴風雪、秋における台風、爆弾低気圧等により、当地区においても施設をはじめとする被害が多発するなど災害の多い1年でありました。被災された組合員には、あらためてお見舞いを申し上げる次第であります。

平成27年度の当地区内生乳生産実績は、11万7614トンで、前年比102.25%の実績でありました。搾乳戸数の減少や予期せぬ自然災害による被災の中、現場において組合員の皆様を始めご家族が一丸となって生乳生産に取り組まれた日々のご努力に対し、心から敬意を表するとともに感謝を申し上げます。

北海道生乳生産基盤・安定供給強化対策

本年度から新たにスタートする「北海道生乳生産基盤・安定供給強化対策」は、全道一律の目標伸び率103%を基本としながら、各農協の生産意向数量を各農協の生産目標として位置づ

けられました。当農協も出る範囲で諸対策を講じてまいりますので、目標数量に近づけるべく達成を切願いたします。

引き続き酪農と漁業が将来に亘り共存共栄できる社会を作ることが必要であり、組合員戸々の施設環境を確立する必要があります。

現在、国営環境保全型かんがい排水事業も進められておりますが、一方では別海パイオガス事業への利用をしながら、施設整備の補完として活用されますようお願い申し上げます。

平成27年度のJAの事業成果につきましては、生乳・個体を合わせた総販売高が141億9600万円と、過去最高の実績を挙げることでございました。これもひとえに組合員とご家族皆様の日頃の弛まない努力と、JA事業へのご理解、ご利用の賜と深く感謝する次第であります。後ほど議案の中でご説明をいたしますが、磐石で強固な財務基盤構築のため、内部留保に向けてとともに出資配当をご提案させていただきます。組合員

の皆様にはご理解を賜りたくお願いするものでございます。

組合員あつてのJAであり、健全なJAであつてこそ組合員への支援も出来得ると思つておりますので、より一層のJA結集とJA利用についてお願いを申し上げます。

そして、本総会に向けては各農事組合長を中心に組合員皆様の多大なるご理解を頂き、また、特に本年度は役員改選期ということので、推薦委員・協力委員の方々には大変なご苦労をお掛けいたしました。本日、こうして議案の提出が出来ますことをあらためて感謝申し上げます。

本年は「TPP関連政策大綱」決定後の法案審議の動向、農協改革に向けた規制改革議論の行方など更なる情勢変化が予想されます。先行き不透明感のある中、直面する課題に対し引き続き積極的に事業推進してまいります。

本年度は平成28年度から平成33年度を目標とした地域農業振興計画と、平成30

年度を目標とした第10次中期経営計画を「未来ある地域づくり活動の実践」をスローガンとして樹立いたしました。

これら後にご審議いただきますが、新たな担い手確保のための共和育成牧場の法人化、研修機能を持つ生産施設の建設、更には就農に向けた人材育成、地域の労働力確保などを優先的に取り組む計画としております。

また、中春別地域畜産クラスター協議会をはじめとする各関係機関との連携により、地域目標の共有と地域全体の取り組みにより、生産基盤の拡大と生産性向上を図り、収益力向上に向け農協事業を展開してまいります。

本計画の策定に当たり組合員皆様を始め、各組織には貴重なご意見を頂いた事に感謝を申し上げます。

結びになります。行政を始め、系統連合会並びに各関係機関に対しまして、今後ともより一層のご指導とご支援を、心からお願いを申し上げます。本総会開会

にあつての挨拶とさせていただきます」と挨拶がありました。

**平成27年度
優良組合員表彰者**

上田泰治

乳質改善・良質乳生産組合員表彰者

木原 誠 佐藤孝徳

奥山明範 橋本嘉篤

佐藤樹元

経営移譲感謝状授与者

眞下順一

新規就農激励状授与者

高橋直哉 高橋真莉恵

中島哲郎 中島 舞



優良組合員表彰者・上田泰治氏



乳質改善・良質乳生産組合員表彰を受け取る後継者、木原直紀氏



経営移譲感謝状を受け取る後継者、眞下雅人氏



新規就農激励状授与者・高橋直哉氏



新規就農激励状授与者・中島哲郎氏



多くの来場者でにぎわった会場



モ〜ちゃんと一緒に記念撮影

「いつもの牛乳より、すつきりして飲みやすい！」と好印象

牛乳消費拡大運動

毎年恒例となりました青年部、女性部と農協の合同行事である消費拡大運動「牛乳・乳製品無料試飲試食会」を6月13日(月)新千歳空港東急百貨店で実施いたしました。

毎年恒例となりました青年部、女性部と農協の合同行事である消費拡大運動「牛乳・乳製品無料試飲試食会」を6月13日(月)新千歳空港東急百貨店で実施してきまし

た。

前日によさこいソーラン祭りが閉幕したという事もあり、試飲試食ブースを設置するとほぼ同時に狙いどおり多数の来場者で溢れました。「乳製品無料試飲試食会」のプラカードを持ち、牛乳・ヨーヒール牛乳・飲むヨーグルト・さけるチーズを手にとっていた「おいしいね！」「すつきりして飲みやすいよ！」と評判も上々でした。

品を購入していただいた方には、青年部オリジナル牛柄タオルと女性部オリジナル牛柄軍手と乳業興社さんからは、べっかい帳(ノート)をプレゼントし、大変喜んでいただきました。

また、台湾や香港と海外からお越しの来場者もあり、英語での対応に始めは戸惑いでしたが徐々に慣れ、呼び込み効果もあり当日の売上は、平日に比べてなんと13倍以上になりました！

来場者からは「前に別海町に行ったことがあるよ！」という言葉をかけていただきました。乳製品の試飲試食会と共に別海町のPRも同時に行い、都市部の消費者と生産者を繋ぐ架け橋となりました。今後も積極的な消費拡大運動を展開してまいります。



長い歴史を振り返りました

J A根室地区女性協議会設立60周年記念式典・記念講演・祝賀会

J A根室地区女性協議会設立60周年記念式典が6月10日に行われました。

記念式典では歴代部長や事務局への感謝状贈呈、根室地区女性協議会の今まで



難しいクイズに苦戦しました…

で、北海道女性農業者倶楽部マンマのネットワーク事務局局長山寿美子さんより「農村女性が・地域・未来を明るくする！〜十分に發揮できてる？ 私たちの力〜」と題した講演をしていただきました。「今の女性は元気だ元気だと言われているけれども、本当に皆さん元気ですか？ 女性力という言葉があります、例えば皆さん自分が一つのことががんばって達成したとします。がんばって達成したことを謙遜していませんか？ そんなことではいけません！ 自分で決めた目標を達成したことならば胸を張らなければいけません、背中を丸めるんじゃない、自信を持ちなさい！」など元気が湧いてくるお話をたくさん聞かせていただき、会場からは「きままるさんの女性版だね」「こんなにおもしろい講演ならうちの地区でもやってほしい」など大好評でした。祝賀会では女性組織の歴史を振り返れるクイズなども行い、式典は無事終了しました。参加された皆さんお疲れ様でした。

清潔な施設内は癒しと安らかな空間でした

ボランティア組織そよかぜ・木の实部会合同視察見学

ボランティア組織そよかぜと木の实部会では、6月9日(木)に別海町特別養護老人ホーム清翠園に合同視察見学を行いました。

施設長の村井さんから清翠園の概要等を説明していただきながら施設内を案内していただきました。施設内にある調理室は冷凍庫・冷蔵庫を上手く活用し、作業の負担を減らすことによって今までより少人数でも時間を短縮できることや、誕生日には特別メニューを出したりなど季節感を忘れないような献立を作っていることなどを説明していただきました。広くて落ち着いた雰囲気施設の施設内はその場に居ただけで癒しと安心感があり、とても心地よい空気が漂っています。見学の最後には施設長より「清翠園ではショートステイやデイサービスも行っております。24時間365日介護をするというのは気が休まる時間が無くとても大変です。疲れていては良い介護は

できません、施設は使うためにあります。そして私達はそのために働いています。どうぞ気軽にご相談ください」と挨拶をいただき解散となりました。



施設内は広く、開放感がありました

最新の酪農施設を視察

豊原酪農振興会(渡邊寛会長)では、6月10日(金)に最新の施設に触れ見識を深めてもらうための視察研修が開かれ44人が参加しました。

豊原酪農
振興会

当日は好天に恵まれ、上春別地区の株式会社やんべ牧場と株式会社なかのめ牧場の2カ所を視察しました。

株式会社やんべ牧場では、搾乳牛



丁寧に説明していただいた中野目さん

が350頭、出荷乳量が昨年度で3800トンと規模が大きく昨年400頭規模のフリーストール牛舎(補助事業なし)と16頭Wパーラーを新設し22年から3回搾乳を行っています。パーラー施設は20頭Wまで増

設が可能、牛床には砂が敷かれ、砂を撒くための作業機もありました。労働力は雇用の14人、28年度は出荷乳量4800トンを目指しているとの事でした。

続いて株式会社なかのめ牧場は、畜産クラスター事業を活用し木造フリーストール牛舎と8頭Wパーラーを新築し、今年の4月から新牛舎へと移りました。まだ2カ月しか使用していない牛舎は木造特有の木のいい香りがし、窓も多く明るく過ごしやすい空間で扇風機をほとんど回さずに自然と空気の流れる方向が計算されていました。牛舎を建てる際、どうしても木造にしたかったという中野目さん、木造牛舎は人も牛も安らぐほか、地域で取れる材を使用できる事や、鉄やコンクリートに比べても強度が高く、長期的にコストも抑えられるなど近年は木造牛舎に注目が集まっています。視察後は、ウエスタンにて昼食をとりながら仕事や家庭の近況報告でご近所同士、盛り上がり、収穫作業が始まる前の休息のひと時となりました。

雨降りて冷たい風のなか中春別酪農振興会(高橋真悟会長)では、酪農技術の向上を目的とした勉強会を6月13日(月)に会員、家族15人参加のもと行いました。

平成27年度にクラスター関連事業を活用し、FS牛舎(150頭)、搾乳ロボット2台を導入した計根別の鈴木直良牧場さんを視察しました。鈴木直良さんは新規施設投資を行い生乳生産量の増産、を計画して

おり个体販売、乳価が高く夫婦2人で経営していくためにも必要だと考えたため投資にふみきりました。始めのうちは牛が慣れていなく、「搾乳ロボットまで誘導しなければいけないが大変でしたが、最近はやつと慣れてきて少し安心して作業できる

FS牛舎、搾乳ロボット2台導入した施設を視察・勉強

中春別酪農
振興会



ようになった」とのこと。今後も牛にとつて少しでもストレスがない環境にしていきたいと話していただきました。

説明の後には、実際に施設を見回り「搾乳ロボットにしてみてどうですか?」「総額はいくらぐらいですか?」などの質問に対し丁寧に答えていただきました。

酪農体験をとおして牛乳、乳製品、牛肉の現場を知る



今年で6年目となる夢都里路くらぶ援農体験を6月15日～6月17日の3日間の日程で、生活クラブ生協組合員及び組合員家族3人(岡田茜さん、鈴木彩子さん、小松あみなさん)を招き、豊原地区の奥山牧場で酪農体験を実施しました。

生産者と消費者が貴重な意見交換ができ、「安心・安全」を肌で感じた3日間

中春別農協到着後、参加者同士の自己紹介と3日間

の行程についてのオリエンテーションを行い奥山牧場へ向かいました。

奥山牧場到着後

明日より始まる作業内容の確認のため、施設内を回っていると、参加者からは「こんなに近くで牛を見たのは初めて!」と感動されておりました。その後、消費者と直接話せる貴重な機会として夜に懇親会を行いました。

中春別酪農対策

協議会より伊藤会長、斉藤常任委員、南澤常任委員、馬場常任委員、農協より西川副組合長、館内営農部長他職

員4人が参加し、生産者と消費者との貴重な意見交換の場となりました。

2日目からは本格的な作業の開始です。朝5時に牛舎に行き、実際に作業をしていただきました。

子牛にミルクをあげて寝床の掃除をし、次は搾乳作業。搾乳する機械が予想よりも意外と重いようで、空気を入れずに乳頭に付けるのが少し難しいようでした。

夕方の作業まで時間があることから、摩周湖・硫黄山への観光を行いました。当日は天候が悪く、摩周湖を見渡せず、霧の摩周湖を堪能していただきました。帰宅後は朝の作業と同じく子牛のお世話から搾乳作業までしていただき、2日目を終えました。

3日目は、飛行機の時間までを使い、野付半島へ行きました。3日目もあいにくの天候ではありましたが、別海十景の一つを見ていただき、道東地方を後にしました。

2泊3日と短い日程ではありましたが、食卓に並ぶ牛乳・乳製品や牛肉がどの



ような場所で生産されているのかを見ていただけたことが、今後の消費拡大に繋がればと思います。また、参加された方については、農畜産物に対し正しい知識を身につけるために勉強をされていること、酪農体験を通じた消費者と生産者とのコミュニケーションを図り、また、「安心・安全」を十分に理解いただけたことと思います。



北海道教育大釧路校ファームステイ受入事業

農業体験を通じて食の大切さを 子供たちに伝えてほしい

今年で4年目を迎え、昨年までに83人の学生が参加している根室地区青年部協議会主催の教育大生ファームステイ事業が5月27日(金)～29日(日)にかけて開催されました。管内の青年部員が受入し、当地区は、中春別地区の藤倉牧場と相澤牧場で各2人の教員を志す教育大生がファームステイ体験を行いました。

初日はJ A道東あさひ別海本所で入村式が開かれました。事前学習会では地区青協役員より、「牛の一生」

や「牛のからだ」について説明がありこれから未知の体験をする学生たちは不安と期待が入り交った表情を浮

かべながら真剣に講義を受けていました。

学習会の後は入村式が行われ、久保会長より「教育の現場を担っていく皆さんと、若手農業者がお互いが学びあいの場となります。将来は子ども達にこの経験を伝えてください。そして牛た



ちは人間の予想しない動きをすることがありますので、そのかけひきを楽しんで下さい」と挨拶があり会場

は笑いに包まれました。

その後、受入盟友と学生顔合わせが行われ、「お世話になります」としっかりと握手をして入村式が終わりました。

牧場に着き1泊2日の酪農実習が始まり初めての農業体験へ。ひとつひとつの作業の意味と目的、注意点の説明を受けながらの体験。特に搾乳の前搾り作業では「なんで出ないんだろう?」と慣れないうちは大変でしたが、最後のほうではコツを掴んだら早いもので「もうこれだけできたら、農家に嫁げるね」と太鼓判を押されるほどになりました。受け入れ農家の家族と夕食を囲み、初めての農作業体験の感想を話しながら1日目を終えました。

2日目は、朝が早いと聞いて緊張であまり眠れなかったのか、農家よりも朝早くに牛舎に向かう学生の姿。前日の作業手順を思い出し、早々と作業を終えました。昼からは、お世話になった農家を後にし、地区女性部との料理教室会場である中標津の文化会館「しるべつ」とへと向かいました。

料理教室では、女性部のみなさんから「ミルクもち」と「チーズせんべい」の作り方を教わり、宿泊先の川北ふれあいセンターへ向かい振り返り講義を行い、体験を終えた仲間達と語らい2日目を終えました。

3日目の最終日、受け入れ農家との交流会を昼食のバーベキューを囲みながら、受け入れ時に話ができなかった事などいろいろと話をしました。その後、管内の農協役員を招いての振り返り発表会が行われ、ファームステイ受入事業が終了しました。受け入れに当たり、快く引き受けていただいた藤倉さん、相澤さんご家族のみなさん、ご協力ありがとうございました。

汗が飛び 笑顔が弾けた 豊原運動会

暖かい天気に恵まれた豊原運動会が5月28日(土)に開催され、園児、小・中学生、一般を対象に各種競技が開催。園児たちによる選手宣言で運動会がスタートしました。

会場のみんなと一緒に準備体操「どうぶつたいそう1・2・3」を、あたま、かた、こし、ひざりと園児が声を出し、体をほぐしました。始めの競技は保育園児たちによる「かけっこ」。懸命に走る子に「頑張れー」「いけー」と声援を送るお父さん、お母さんたち。次に小学生、そして最後に一般の100メートル走の「かけっこ」に「パパ頑張れー」と大きな声で応援する子供、迫力ある走りに見ている人も思わず身をのり出しました。

ヒップバンでは女性たちが風船を膨らまし、おしりで勢いよく「バンッ!」と割り、我先にとゴールに向かい、全力で走りました。声援はグラウンド中に響きわたり大盛り上がりでした。



お菓子をとりまく子供たち「ごほうび なあに」

紅白にわかれたの「大玉ころがし」



「デカバンリレー」に奮闘する親子



懸命に走るリレーアンカー



地域のみんなが参加しての玉入れ競技





みんなの息を合わせてイチ・ニ、イチ・ニ「ムカデ競争」



お尻で風船を割ってゴールへ向かう



一般競技「おいらくの恋」



景品の受け渡しに張り切る本部席



園児たちが「おいらくの恋」を踊る様子

閉会式では園長先生から園児一人ひとりにトロフィーが手わたされ大喜び。トロフィーを掲げ走って退場する姿も可愛らしく、観客から盛大な拍手が送られ運動会は終了しました。参加されたみなさん、お疲れ様でした。来年の運動会も楽しみにしています。

親子パンツでは小さい子供とお父さん、お母さんの歩幅が合わず転びそうになりながらも「イチ、ニ、イチ、ニ」と親子ならではの息のあった競技となりました。

おいらくの恋は、どんな内容が書かれているか分からないカードを拾い、同じカードの人同士が手を取り合い、「ときめき」と書かれたカードを見て「やだ〜も〜う！ ときめきですって〜」と、照れながらもニコニコゴールに向かって走りました。

最後は園児たちによる「しりとり」と「おいらく」。たくさん練習したバトンパスがうまくいき、1回もバトンを落とすことなくつなぎ、アンカーにバトンがわたると赤組、白組関係なく応援席から声援が送られ、みんなの絆がますます深まりました。



なかなか思うようにパンがかわることができない「パン食い競争」





魚釣りに苦戦する大人たち



可愛らしい1年生の選手宣誓

地域が一体となって参加した **運動会**



親子仲良く歩幅を合わせて



幼児たちも「ごほうび」目指して走ります!

あいにくの曇り空で冷え込んだ天候の中、子供達が待ちに待った中春別小学校大運動会が6月5日(日)に開催されました。

開会式のセレモニーが始まり、聖火ランナーによる聖火の点灯式によって大運動会の幕が上がりました。ラジオ体操で十分に体をほぐした後、1年生による可愛らしい選手宣誓がありました。競技の最初はメインといつてもいい全校徒競走がスタート。1年生から順番に始まりました。この日のためにたくさん練習した我が子の姿をビデオカメラに収めようとお父さん、お母さんたちも真剣な様子。会場から「ガンバレー!」と多くの声援に背中を押され次々とゴールテープを切っていました。

4年生の「ピカッとおそうじパレット!」はスタートして網の下をくぐり、ペットボトルをキレイにおそうじした後、最後に棒から吊るされたパンをくわえてゴールするのですが、ゆらゆらと動くパンがなかなかくわえる事ができずに追いつかれない場面もあり、勝負は最後まで目が離せないものとなりました。幼児たちの「ごほうびなに?」では、みんな「よいどん!」の合図で一斉にスタートしてご褒美のお菓子のたくさん入った袋を目指して元氣いっぱい走り、とても可愛らしい姿が印象的でした。



「勝利を目指して」全力です

だんだん雲が消えてと空が青くなり出した頃、一般参加の「釣りリング春別川2016」が始まりました。会場のお父さん、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃんがたくさん集まり、スタートの合図で走りだし、釣竿を手にとりて魚を釣り上げてからゴールを目指しますが、脚に自信のあるお父さん達も釣り上げるのに苦戦し、釣り上げたかと思うとゴールテープを持つお父さんたちが遠くに離れていくハプニング!? もあり、会場は大いに盛り上がりました。

全校児童参加の鼓笛隊「さんぽ」は映画トトロの曲で、運動着からそれぞれ演奏隊の衣装にチェンジ。指揮者を先頭に演奏しながらトラックを周り、1年生がお兄さん、お姉さんのピアノ、鍵盤ハーモニカ、太鼓のリズムに合わせて、とっても可愛らしく上手な踊りを披露していました。

今年は前日が雨となり開催が心配されましたが、雨は降ることなく曇模様で肌寒い中でしたが、運動会のはじめは終えました。結果は赤組さんが勝利!先生と競技の準備お手伝いのお父さん達、大変お疲れさまでした!白組さん、来年こそは勝利を目指して頑張ってください。



第32回 2オクラス

ホルスタイン写真 コンテスト

中春別乳牛改良同志会(竹田 潤会長)では、毎回好評であります「ホルスタイン写真コンテスト(2オクラス)」を行いますので、投票要項に注意してお早めに応募して下さい。

予想投票応募要項

1. 同封しています予想投票用紙に6頭の序列付を行い、その牛の該当記号(A~F)を記入して下さい。また、ベストアダーも記入して下さい。
2. 全問正解者、また、正解率の高い方に賞品を贈呈致します。なお、正解者多数の場合は抽選により決定致します。
3. 住所、氏名、記号は、はっきりわかりやすく記入し、投票用紙を畜産課(畜産指導係FAX76-3006)または、授精師にお渡し下さい。
4. 応募メ切は、7月31日となっておりますので期日厳守にて応募して下さい。
5. 序列・講評と全問正解者(当選者)は2016年9月号で発表いたします。



秋のシヨウリングへ 愛牛たちの白熱の競い合い!

JA中春別乳牛共進会

共和育成牧場にて平成28年度JA中春別乳牛共進会が6月4日(土)に開催されました。

開催に先立ち、牛魂祭並びに農作業安全祈願祭が執り行われました。

数日前からの雨が当日も降り続き、今年は屋内でのシヨウとなりましたが、出品者の皆さんが日頃から手塩に掛けて育ててきた40頭の牛達が一堂に会しました。

審査員は、ご自身も数々のシヨウでご活躍の別海町酪農家の安部克寿氏が務められました。

迅速且つ丁寧な審査をしていただいた結果、シニアチャンピオンに宗像卓朗さん出品「セイコー ロクセツト スタンドアウト」が、ジュニアチャンピオンには寺澤佳吾さん出品の「プロミネンス リツキー マツカチエン」が輝きました。



審査員の安部克寿氏とデールリークイーンの戸田さん(左)丸山さん



チャンピオン牛を囲んで

JA中春別乳牛共進会チャンピオン牛

	名 号	生年月日	出品者
シニア・チャンピオン	セイコー ロクセツト スタンドアウト	H25.12.30	宗像 卓朗
リザーブ・シニア・チャンピオン	プロミネンス パラゴン クリステイーナ アイオーン	H25.12.14	寺澤 佳吾
ジュニア・チャンピオン	プロミネンス リツキー マツカチエン	H27.08.09	寺澤 佳吾
リザーブ・ジュニア・チャンピオン	YMD ロクツセツト アツツウッド ビル ET	H27.09.13	山田 博和

共進会の途中で開催されたジュニアリードマンシヨウでは、子供達が懸命に牛をリードする様子が会場からは応援の声があがっていました。また、女性リードマンシヨウでも多くの方に参加していただき、女性の凛々しく堂々と牛を魅せる姿が会場を沸かせていました。

気温が上がらなかつた当日ですが、お昼には毎年好評の青年部・女性部によるサイコロステーキ、ミルク豚汁、ヨモギ白玉団子の無料提供もあり、「寒いから暖かい食事はうれしい」などの声も聞こえ、今年も大変好評の様子でした。

天候不良が続いています
が、春のシヨウも一段落し、これから牧草収穫で忙しくなることと思います。事故や怪我、体調には充分にご留意の上、8月から始まるシヨウに向けさらに素晴らしい牛を育てるべく研鑽を積んでいただき、秋にはより一層白熱した戦いが見られることを楽しみにしたいと思います。



女性リードマンシヨウ



ジュニアリードマンシヨウ

JA中春別乳牛共進会成績(1等1席)

部	名	号	生年月日	父	牛	出品者							
1	YMD	ロクセット	アツトウツド	ビル	ET	H27.09.13	メープルダウンスアイ G W	アツトウツド	ET	山田 博和			
2	プロミネンス	リツキー	マツカチエン			H27.08.09	デスー BKM	マツカチエン	1174	ET	寺澤 佳吾		
3	プロミネンス	ビューティール	GC	シャイン		H27.03.22	ミスター	チャシティー	ゴールド	チツプ	ET	寺澤 佳吾	
4	ルージュファーム	マーシー	スパークリング			H27.01.11	ジレット	ティーウエーブ	スパークリング		ET	共和育成牧場	
5	プレゼント	マリールンド	オータム	ガール		H26.09.05	ミッドフィールド	CCM	アイオーン			中西 裕哉	
6	スウィートブライアー	スカーレット	スキヤン			H26.08.04	ジレット	ティーウエーブ	スパークリング		ET	竹田 潤	
7	セイコー	ロクセット	スタンドアウト			H25.12.30	レーガंकレスト	S	ブラクストン		ET	宗像 卓朗	
8	セイコー	サマンサ	ピユア			H24.07.26	コムスター	ラバンガード			ET	宗像 卓朗	
9	プレステージ	チュンキー	アフター	クリスマス		H23.12.25	MS	アトリーズ	SHT	アフターショック		ET	久保 光大
10	ライブリー	リンデイ	デコール	チャツク		H21.08.14	クラムス	ダーハム	ボンチアク				山田 光男

最多出品者賞

中西 裕哉 牧場 (7頭出品)

最優秀ジュニアリードマン

高橋 そら さん (保護者:高橋 直哉さん)参加者12人

最優秀女性リードマン

佐々木 貴子 さん 参加者11人

草地の簡易更新について

一番牧草の収穫量はいかがでしたか。収量の少ないほ場は、完全更新、追播、簡易更新等を用いて、植生回復を図る必要があります。今回は、一番草収穫後、簡易に行える更新方法(表層攪拌法と作溝法)について掲載します。

1 簡易更新について

経年草地に蓄積した植物の残さ物やルートマットを機械で破碎・切断または表土を攪拌し土壌面を露出させて播種する方法です。

簡易更新の方法には、表層攪拌法と作溝法があります。表層攪拌法は堆肥や石灰資材を混和でき、土壌の物理性・化学性の改善が大きいことと、整地効果があり小規模のでこぼこが解消できます。一方、作溝法は、時間当たり処理面積が大きいこと、地表面を攪拌しないので、傾斜地でも表土流亡の不安が無く、更新した年でも作業機械で草地に入ることが出来るなどの利点があります。ほ場の状態等によって簡易更新の方法を使い分けましょう。リードカナリーグラスやシバムギ等、地下茎で増殖する雑草割合の高い圃場は完全更新をお勧めします。

2 簡易更新の方法

表層攪拌法



耕起深を
 pH6.0 - 6.5
 石灰資材を土壌と混和

十分に攪拌する場合は
 堆肥散布可能

↓
 攪拌・砕土・整地
 ↓
 鎮圧
 ↓
 施肥播種
 ↓
 鎮圧



1 一番草収穫6月下旬
 ↓
 前植生枯殺処理
 草丈40cmが望ましい
 ↓
 十分枯死させる
 (処理後10~14日)
 ↓
 石灰資材散布



↓
 堆肥散布



作溝法



改良深(0-5 cm)を
 pH6.0 - 6.5
 石灰資材を表面施用

は種作業に支障のない程度
 堆肥 (2t/10a)

↓
 播種
 ↓
 施肥



3 注意点

- ・表層攪拌法で、ほ場が硬い場合はディスクハロー1回とロータリーハロー2回処理を行ってください。
- ・一番草刈り取り後の前植生枯殺処理は、雑草等が十分に生えそろうた状態で行います。
- ・8月末日までには種作業できるように行い、播き遅れにならないよう作業を進めてください。



会員増で活発な組織づくり

中春別農協年金友の会(高橋昌晴会長)では、6月9日に第32回通常総会が農業者団地センターにて行われました。

第32回 年金友の会通常総会・ スポーツ交流会



挨拶を述べる高橋会長

開会に先立ち高橋会長から、「28年度の春季旅行を企画していますが、参加希望者が少なくキャンセルとなりました。より良い活動にしたいため、アンケートのご協力をお願い

いたします」と組織の現状を語っていただきました。続いて来賓を代表し大山武永常務理事と北海道信用農業協同組合連合会釧路支所J Aバンク推進課長川越良則氏より挨拶をいただき、本総会が開催されました。

総会進行にあたり、議長に中春別地区の出田精司さんが選出されました。議事に入り、スムーズな進行のもと議案第1号〜議案第3号をとり進めていき、全議案出席者賛成のもと無事終了いたしました。

パークゴルフ、ゲートボールで会員の交流と親睦を楽しみました

総会終了後、中春別ヘルスパークにてスポーツ交流会を開催しました。天気予報では午後から雨であったため、予定より30分早まってスタートを切りました。パークゴルフでは好成績だとしても、必ずしも優勝できるとは限らないハンディ戦を取り入れて実施しました。どんよりした曇り空



笑顔でパークゴルフを楽しむ会員のみなさん

の肌寒い中でしたが、パーク、ゲートともに終始元気な姿を見せていただきました。解散する頃には雨が強く降ってきたので、早くスタートしたおかげで無事に終了することができました。

「パークゴルフ」

*男子の部
優勝 高田 珠夫
準優勝 中村与之進



*女子の部
優勝 関口 和子
準優勝 富永 フクエ



元気のみなもとほ唄を歌うこととおしゃべりを楽しむことと終始笑顔のみなさん



最高齢者の小湊カツさん



寺澤昭一カラオケ会会長



佐々木茂成春別寿会会長

好きな唄を歌って、おしゃべりを 楽しむのが健康には一番いいのよ

「春別寿会の中のお楽しみ会(カラオケ会・寺澤昭一代表)が毎週金曜日にカラオケをしているので、取材に来てほしいの！」と平林美知子さんより電話があり、早速、5月19日(木)取材をしてきました。いつもは金曜日ですが、5月20日が地域の花見とかさなつたため前

日になりました。午後1時前にお邪魔した時、みなさん昼食を終え雑談しながら取材を待っていてくれました。午前中は別海町老人クラブ連合会主催の芸能発表会が5月21日(土)に別海町で開催されるということで、10人(男性3人、女性7人)の会員さんが合

唱曲『みちづれ』を「本番さながらの練習をしていたの」と笑顔で話す平林さん。発足は「18年程前に歌の好きな人が1人、また、ひとり集まってきた、今と同じ10人程で始まったんだ。始めはこう歌ったら良いと指導する人がいたんだが、この会は下手も上手

いも関係なく、名前のおり『お楽しみ会』なんだ」と寺澤さん。超大型画面にレーザーディスク、ハンドマイクも完備され本格的。曲のレパートリーも多く、昭和30年代から40年代の歌を中心にみなさん歌いこまれています。芸能発表の『みちづれ』を歌っていただけませんか? とお願いしたところ快く全員で合唱していただ



この会は下手、上手いも関係なく、名前のおり「お楽しみ会」と代表の寺澤さん

きました。平均年齢83歳とは思えない若い歌声と歌唱力に魅了され聞き入りました。平林さんが「歌っている唄を聞いていると、その人の思い出があり、人生があつて味わいがある。戦争を経験したみなさんだから『国境の町』『岸壁の母』を聞くとき身内を亡くされた方もいて、思い出して泣けてくる」とそつと教えていただきました。

した。楽しみはカラオケだけでなく、おしゃべりも大切で、これが元気の源になっているようです。また、足が痛い、腰が痛いと言つても山菜が出始めると採りに行き、ギョウジャニンニク、よもぎ、クレソンなどを天ぷらにしたりお浸しにして持参して、みんなでいただくところが格別に美味しく食欲も出るとのこと。歌って不思議ですね、初対面の人とも距離がぐつと近づき、心を開いてくれて気軽にいろいろと教えていただき話もはずみました。最後にみなさん1人ひとりに唄を歌っていただきました。最高齢の小湊カツさん、89歳とは思えない高い音も声が出て素敵でした。また、ご夫婦で参加されている富永さんもとても上手で、歌好きなのが伝わってきました。これからもお互いに支え合いながら健康で歌い続けて、おしゃべりを楽しんでください。とても楽しく取材ができ、みなさんから元気をいただきました、ありがとうございました。



第2回三友舗道旗・平成28年度第1ステージ予選大会が5月21日から中標津町運動公園で開催され、根室管内から10チームが出場、鎌田監督率いる中春別ジュニアホークス(2年生から6年生まで総勢20人)が出場しました。

快挙! 2年連続全道大会へ出場が決定

ホクレン旗大会へ出場する中春別ジュニアホークス



今年4月から監督に就任した鎌田新監督、4人の新入部員も入団し、管内大会で全道権を獲得するため、毎日放課後2時間程の基礎練習と厳しい練習に汗まみれ、泥だらけになり、野球づけの日々の中、元気にハツラツと白球を追い、上手くなつていく子供たち。その姿を目を細め、「昨年メンバーがそのまま残っているし、今年も決勝まで行つて優勝を狙えるぞ」と手応えを感じる監督、コーチたち。

いよいよ全道予選初日(5月21日)、対戦相手は羅臼キラホエールズと対戦、12対6で勝利し、2日目(5月22日)準決勝は丸山ファイターズと対戦、6対3と順調に勝ち上がりました。決

勝戦は昨年と同じ別海中央ジュニアイーグルス。前半はリードしたのですが、勝ちを意識したのか後半、守備の乱れもあり、惜しくも5対9で敗戦、相手の気迫が優つた結果となりました。

優勝チームには7月に紋別市で開催されるマクドナルド杯北海道大会へ出場ができ、準優勝チーム・中春別ジュニアホークスには7月31日から開幕されるホクレン旗(札幌市)への出場権が与えられました。2年連続全道大会出場権を獲得した中春別ジュニアホークス、昨年は選手、監督、コーチも大観衆の雰囲気にもまれ、緊張してしまうような結果が残せなかったが、今回は2年連続ということ、「全道大会で1勝を目指して頑張りたい、自分たちの野球ができたら大丈夫!」と鎌田監督。また、キャプテンの妻沼望望くん(6年生)は「今年のチームテーマは『恐れず、迷わず、諦めず』なので全道大会では1試合でも多く勝ち上がり、優勝目指して頑張ります。応援よろしくお願いします!」と力強く宣



言してくれました。

全道大会へ向け更なるレベルアップを目指し、毎日厳しい練習をこなしている中春別ジュニアホークスの選手たち。練習の成果を遺憾なく発揮し、普段通りの野球をして楽しんできてください。みんな応援してます!

新職員の紹介

3カ月間の試用期間を終え、7月1日付けで新採用になりました職員を紹介します。試用期間中には農家実習も経験しましたので感想をご紹介します。

貴重な農家実習を体験して



係 課 振 興 課 農 業 振 興 課 農 業 振 興 課 農 業 振 興 課
たけだ まさや
竹田 昌矢

3カ月間の試用期間を終え、この度、新採用となりました竹田昌矢です。

6月13日〜17日の5日間、遠藤理事のお宅で農家実習をさせていただきました。

農作業を行うのはほとんど初めてで不安もありましたが、普段では体験できないことができるという楽しい雰囲気もありました。

初日は遠藤理事から指示

組合員に信頼される職員を目指し



係 課 生 産 資 材 係 購 買 課 購 買 部
うだ みらい
戸田 未来

をいただき糞かきやエサ寄せを行い、夜の作業では初めての搾乳作業を間近で見、前搾りを頼まれました。牛それぞれで乳頭の大きさや、形が違い、嫌がつて暴れる牛など前搾りをする時にはとても大変で危険な作業だと感じました。

2日目は朝の作業から始まりました。朝の作業では糞かきやエサ寄せ搾乳、配合飼料を与えるなど前日と似た作業内容でしたが、慣れない部分もあり時間がかかってしまいました。ですが仕事をしている中でも会話がたくさんあり、明るく初日の不安と緊張は少しずつとれていきました。朝の作業が終わって朝食を食べる時

この度、試用期間を終え、購買部購買課生産資材係に配属となりました戸田未来です。

先日、山崎理事のお宅で5日間の農家実習をさせていただきました。

農家の仕事はまったくし

にもたくさん話しかけていただき、本当に楽しいご家族だなど改めて感じました。昼の作業では施設の掃除やロールラップから出たゴミの処理など、牛の世話以外にもいろいろ作業があることを知りました。

3日目には雨も上がり昼の作業では草刈りをし、やり始めは楽しく作業していたのですが、終わってみると思っていた以上に疲労感がありました。

4日目では朝の搾乳時に近くの牛が分娩を始め、小さな足が出ているのを見ても思わず遠藤理事に駆け寄りました。子牛の足に紐をかけた引張る体験まですることができ、親牛が苦しそう

たことがなく、何をしたらいいかわからないままでは始めは少し不安でした。

今回主に実習させていただいた仕事は、朝晩の搾乳、牛舎の掃除、餌やりです。

1日目は敷地内を見

にしている中、やっと子牛が産まれてくるのを見て命の大切さを感じました。

4日目は最後の夜という事でご飯をご馳走になり、とても楽しい時間を過ごさせていただきました。

最終日には親牛の尻尾を切るという貴重な体験をさせていただきました。作業が終わると今日で終わりかと少し寂しい気持ちにもなりました。

5日間という実習期間でしたが学ぶこと、初めて体験することがとても多い5日間でした。牛も人間と同じようにストレスや疲れもあり、それによって乳量が変わったりする繊細でとても気遣いが必要な動物という

学させていただきました。

2日目から実際に作業させていたのですが、前搾りやミルクカーをつけるのがすごく難しく、また掃除も想像以上に体力を使う仕事でした。

はじめは搾乳のとき、牛



牛の出産を間近で見ることができ、感動と命の大切さを学びました

こと、その牛たちを毎日世話をしている組合員さんと思うと凄い事だと気付かされる実習でした。

今回、学んだ事、感じた事を無駄にせず、これからの業務に繋がれるように日々努力していきます。ありがとうございました。

に触れるのも緊張してしまい、上手く作業できませんでした。

ですが、山崎理事、奥様に、牛の落ち着かせ方や立ち位置など丁寧に教えていただき、少しずつですがスムーズにできるようになりまし

良質粗飼料生産利用対策委員会



良質粗飼料生産利用対策委員会では、近年増加している草地雑草の「メドウフォックステイル」の理解を深めるために農協正面玄関内に展示を実施いたしました。メドウフォックステイルはここ数年、北海道の太平

この雑草は嗜好性が悪く、一度、草地に侵入すると再生力が強いので、除草剤による駆除をおこなっても数年で元に戻ってしまうことから、メドウフォックステイル草地の牧草収穫作業後に作業機械

の清掃をして、別の圃場に持ち込まない対策が重要となります。洋側を中心に草地に拡大しており、5月に出穂するため、6月下旬の牧草収穫時期には種子が草地に拡散し、収穫機械などに付着した種子が別な畑に運ばれ毎年拡散しております。また、畑が黒く見えることが特徴です。



農協正面玄関前に展示したメドウフォックステイル

の清掃をして、別の圃場に持ち込まない対策が重要となります。

草地雑草・メドウフォックステイル

た。

牛舎の仕事以外にも、野菜とそばの種まきを手伝わせていただいたり、農機具を実際に見せていただきました。

のかまったくわからなかったので、教えていただきとても勉強になりました。5日間あつという間で、普段経験できないことをさせていただき、楽しく過ごすごうございました。山崎理事、家族の方、本当にありがとうございます。

うございました。

この経験を日々の業務に活かし、早く組合員の方々に信頼される職員になるよう精一杯頑張ります。よろしくお願いいたします。

農作業火災に注意しましょう!

中春別サブ集落(遠藤均集落長)は、28年度の新たな取り組みとして協定者全戸へ、自動車用消火器の配布を行いました。別海町では毎年、収穫作業中の農作業機械からの出火・子牛の暖房用に置いた投光器の落下等で敷料に引火し火災に発展するケースが後を絶ちません。そこで中春別サブ集落として、車両用の消火器を配布することとしました。遠藤均集落長は「農業は常に農作業事故と隣合わせ、財産はもちろんの事、人命も奪う火災に危機感を持ってもらうこと、万が一に事故があった場合に迅速な対応に役立てていただきたい」と注意喚起を促しました。



「想像以上に体力を使う仕事ですが、とても勉強になりました」と話す戸田さん

●【経営科】意見発表大会で活躍!

5月13日(金)、農業クラブ三大事業の最初の行事となる校内意見発表大会が本校体育館で行われました。審査員として、根室農業改良普及センター佐藤様、別海町役場産業振興部の小野様をはじめ5人の方々の協力を得て行われました。

この、校内大会を経て選出された3人の生徒が6月22日(水)に音更町文化センターで開催された東北海道大会に参加しました。道東地区の9校10クラブから3分野に合計29発表がエントリーし大会が行われました。各校の代表によるレベルの高い発表が集う中、本校の生徒も活躍し、Ⅲ類で最優秀賞、Ⅰ類で優秀賞を獲得し、8月にニセコ町で開催される全道大会へ駒を進めることとなりました。ご指導いただきました関連機関の皆様へ感謝申し上げますとともに、生徒の活躍に大いに期待したいと思います。



大会参加のようす

<東北海道大会の出場生徒と大会結果>

- 【Ⅰ類】 優秀賞 3年 堀 有樹
「地域に貢献する機械マイスターを目指して」
- 【Ⅱ類】 2年 上神 美幸
「日本一のコラボ乳製品の誕生を目指して」
- 【Ⅲ類】 最優秀賞 3年 渡部 優歌
「夢を目標に 農業で開く子供と私の未来」

●【経営科】ふれあい祭りに参加!

6月11日(土)には道東あさひふれあい祭りに参加させていただきました。平成26年より道東あさひ農協のご厚意で参加させていただいておりますが、今年も花苗、野菜苗、寄せ植え、アイスクリーム、パウンドケーキなどを販売させていただきました。自家のウシをリードして参加する生徒もおり、大変有意義な勉強をさせていただきました。当日は、たくさんの町民の方がお見えになり、大変盛会でありました。今後もこうした地元のイベントに積極的に参加していきたいと思ひます。



●【専攻科】「北海道農業特別専攻科学生 研修会兼酪農技術現地研修会」を開催!

5月11日(水)～13日(金)にかけて、別海高校専攻科と富良野緑峰高校専攻科が参加する北海道農業特別専攻科学生研修会兼酪農技術現地研修会が開催されました。道内に2校しかない農業特別専攻科で、農場を視察したり、情報を交換したり、スポーツレクリエーションをとおして親睦交流したりする研修会です。今年で42回目を数え、両校専攻科学生14人が参加しました。



富良野緑峰高校の学生さんと一緒に

【1日目】中札内村にある育成牧場カーフゲート様を視察しました。哺育管理の実際について視察し、学生達からも「牛床の管理も徹底していて、自分の家でも見直したい。」という声が多く聞かれました。その後、JA音更様にて、音更町の農業形態や栽培作目について詳しくご紹介いただきました。



Kalm(カーム)角山の牛舎見学

【2日目】江別市にあるKalm(カーム)角山様を視察しました。アジア初の8台のロボット搾乳システムを導入しているメガロボットファームで、搾乳牛舎やバイオガスプラントを見学させていただきました。ロボットを導入してから乳房炎が減ったというお話や、授精適期をロボットが教えてくれることに驚かされました。

【3日目】長沼町にある雪印種苗北海道研究農場を視察しました。新品種が完成するまでの流れを知り、新品種が世に出回るまで、大変長い年月がかかることを知り、学生達も多くの方の気の遠くなるような努力によって、自分達の仕事が支えられていることを改めて認識し、酪農で頑張っていく覚悟を新にしました。

この研修会をとおして、学生達からは「畑作の方が正直大変そうだと感じた。このように他の農業を学ぶ仲間と交流できるのも、別海高校専攻科の魅力だと思った。多くの情報交換ができたので、来年も是非参加したい。」という感想が聞かれました。この研修会に補助をいただいた専攻科後援会の皆様、ご多用中にもかかわらず親身に対応くださった各視察先の皆様へこの場をお借りして御礼申し上げます。

消化液散布した圃場から試験的に作成

消化液散布圃場の生草キザミサイレージを作りました。

6月21日(休)に消化液を散布した圃場の生草を刈り取り、余乾後に長さ2cm程度に生草をカットしてキザミサイレージを作りました。

今回はキザミサイレージを作るために布団圧縮袋を利用し、カットした生草を布団圧縮袋に詰め込んで掃除機でおもいっきり吸い込み、キザミサイレージが完成いたしました。

今後どのようなキザミサイレージが出来るか楽しみです。また、消化液散布圃場と無散布圃場の生草分析を実施いたしました。分析結果は別記のとおりとなり、消化液を散布した圃場のほうがCP・TDN・NFCなどの成分が高い値を示し、繊維分は低い値となりました。現在、購買



課ではホクレン肥料のBB007(N10-P20-K7)を消化液推奨肥料銘柄として推進しております。

生草分析結果

分析成分(生草分析)	圃場1		圃場2		圃場3	
	消化液散布	無散布	消化液散布	無散布	消化液散布	無散布
C P 早刈りやマメ科の多い牧草は高い数値を示す	24.33	22.63	21.37	19.61	25.44	22.98
TDN 消化利用される養分。刈取りの生育ステージによって影響する	70.08	68.37	68.86	66.78	70.23	69.51
O a 消化されやすい繊維	12.50	13.16	8.21	12.26	14.49	15.98
O b 消化されづらい繊維	34.39	37.73	35.75	38.73	33.25	34.66
NDF 飼料中の総繊維	47.10	50.83	44.37	50.93	47.90	50.60
NFC 第1胃内の微生物が利用するエネルギー。刈り遅れると低い数値を示す	20.57	18.77	25.11	20.29	17.31	18.03
硝酸態窒素 飼料中の硝酸態窒素濃度	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01

5月 乳質乳価一覧表

(単位:円/kg)

5月分乳代支払単価

				単 価	算 出 基 礎	支 払 額	前 年 期	差	項 目	単価(円)/(kg) %	
乳 脂 肪 分				904.403		35.28	34.92	0.36	乳 脂 肪 分 ①	35円28銭	
無 脂 乳 固 形 分				571.621		49.93	49.88	0.05	無 脂 乳 固 形 分 ②	49円93銭	
補 給 金				4.9421		4.94	4.97	-0.03	補 給 金 ③	4円94銭	
計 画 チ ーズ 奨 励 金				1.6536		1.65	1.64	0.01	チ ーズ 奨 励 金 ④	1円65銭	
乳 質 単 価	生 菌 数	ランク1	2	329,639,258.8kg	23	3.71	0.01		脂 肪 率	全 道	4.08%
		ランク2	0	6,389,612.9kg					農 協	3.90%	
		ランク3	-3	180,639.3kg					無 脂 固 形 分 率	全 道	4.00%
	体細胞数	ランク1	2	286,528,611.0kg					農 協	8.70%	
		ランク2	1	26,862,758.2kg					成 分 乳 価	全 道	91円8銭
		ランク3	-2	4,124,370.6kg					①+②+③+④=⑤	農 協	90円86銭
合 計					95.52	95.12	0.40	乳 質 乳 価 ⑥	全 道	3円72銭	
									農 協	3円69銭	
									乳 代 合 計	全 道	95円52銭
									農 協	94円55銭	
									⑤+⑥	差 異	-0円97銭

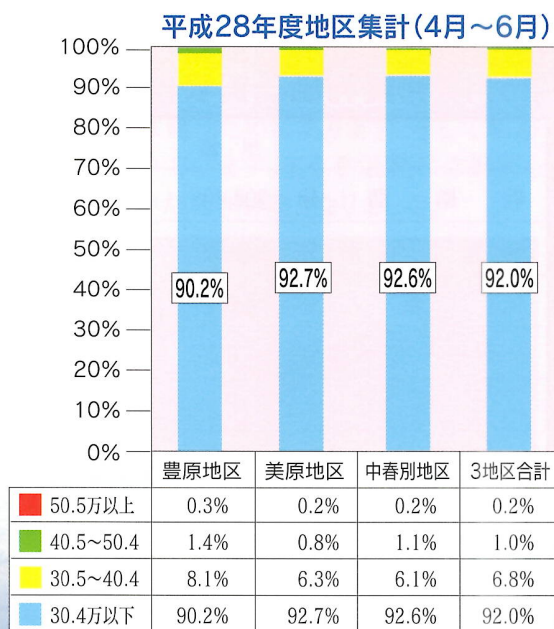
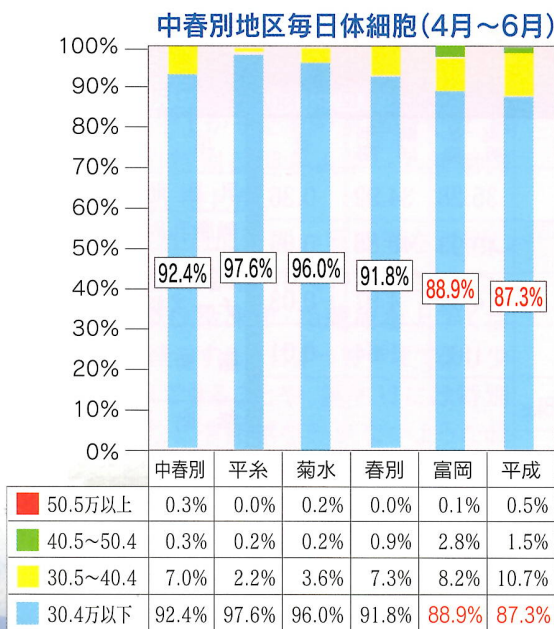
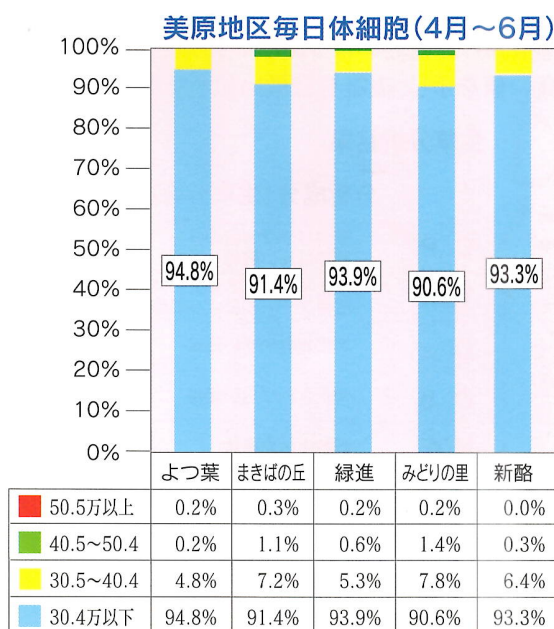
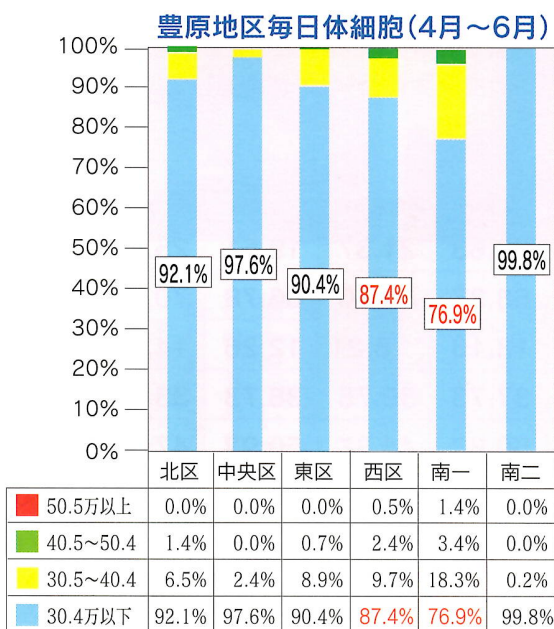


生乳汚染事故を無くそう！

- 抗生物質混入事故…………… JA中春別発生件数 0件 管内合計では**2**件です。
- 生菌による汚染事故…………… JA中春別発生件数 0件 管内合計では0件です。
- 異物混入(小動物)、加水、血乳による汚染事故… JA中春別発生件数 0件 管内合計では**1**件です。
- 異臭、異常風味による汚染事故…………… JA中春別発生件数 0件 管内合計では0件です。

”良質で安全”な生乳生産に努めましょう！

衛生的な搾乳作業はもとより、自動洗浄部位以外の定期的な各部の分解洗浄の励行や乳房炎由来による生菌数削減に努めましょう



第4回 理事会の動き

平成28年6月7日(火)

議 案

1. 代表理事組合長の選任について
2. 副組合長理事の選任について
3. 専務理事・常務理事の選任について
4. 役員構成について

第5回 理事会の動き

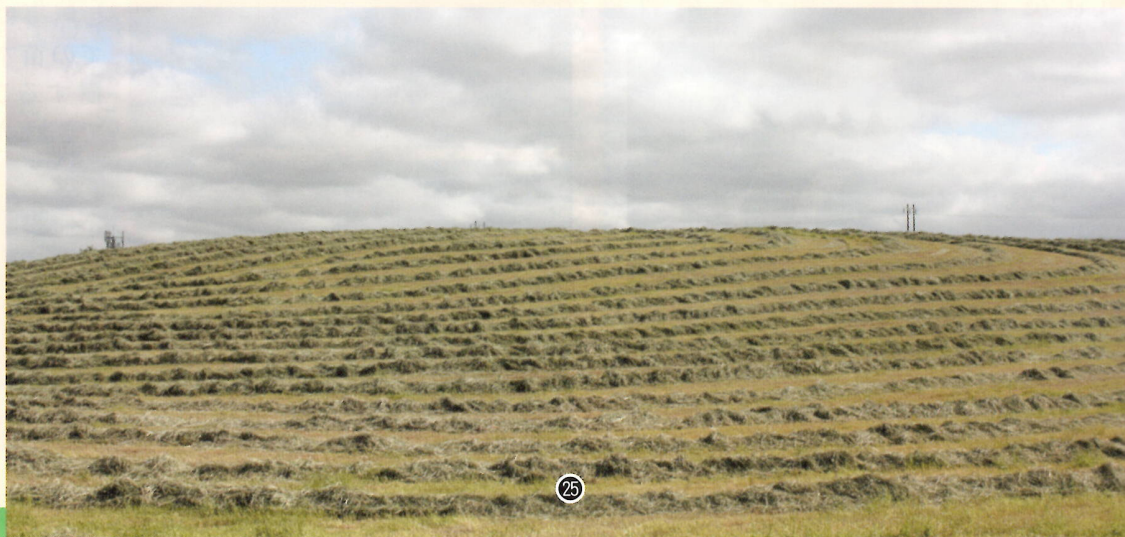
平成28年6月17日(金)

議 案

1. 平成28年度理事報酬額の配分並びに支給方法について
2. 出資金の譲渡について
3. 平成27年度事業版ディスクロージャー誌による開示について
4. 平成28年度営農年度財産造成に伴う資金の借入・貸付について
5. 平成28年度畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業に係る資金の借入・貸付について
6. 組合員取引名義変更について
7. 平成28年度営農年度クミカン取引に係る貸越極度額及び供給限度額の認定について
8. 平成28年度JA畜産経営継承支援事業の実施について
9. 平成28年度大家畜特別支援資金への借換について
10. 平成28年度良質乳生産基盤支援事業の実施について

報告事項

1. 組合員の加入について
2. 組合員の脱退について
3. (一社)北海道農協経営審査協会による内部審査報告について
4. 総体的なリスク量管理および事業量・利益・リスク・資本のバランス確認報告について
5. 内部管理態勢等に係る指導要綱・JAバンク基本方針に基づく「体制整備モニタリング報告」について
6. 要改善JA要綱・JAバンク基本方針に基づく「経営管理資料」のうち全中および農林中金が定める事項について
7. リース契約について
8. 平成28年度5月末営農生産関連実績について
9. 平成28年度ホクレン搾乳システム改善支援事業の実施および参加申込書のとりまとめについて



JA中春別植樹祭

何十年先も緑あふれる中春別に

JA中春別では6月2日(月)美原地区の土砂緩0.3haにおいて植樹祭を行いました。

当日は曇り空のなかの開催ではありましたが、組合員をはじめ別海町、野付漁協組合、根室振興局、釧路開発建設部、別海町森林組合など多数の関係機関より参加いただき、約100人の参加者が750本の苗木(ナラ・エンジュ他)をスコップ片手に協力し合いながら1本1本丁寧に植樹をしました。



最後にこれから先何十年、苗木からたくましい木々へと生育するのを願い、標柱杭を立て植樹祭は無事終了いたしました。

今後も中春別地域河川流域環境保全推進委員会を中心に、環境に配慮した資源循環型酪農の推進を行う計画でありますので、皆様のご協力をお願いいたします。参加された皆様お疲れ様でした。



広い牧草地で大きく育てよ

JA中春別共和育成牧場

毎年行われています夏期預託牛の入牧が、5月30日(月)に共和育成牧場にて行われました。

当日は早朝から家畜車により元気いっぱいな牛達が共和育成牧場に集められ、個体識別番号とネック番号を確認し、授精牧区ごとに振り分けられました。

これから広大な牧草地帯に放たれ、のびのびと新鮮な牧草を食べた牛たちが我が家に帰る頃には、一回りも二回りも成長し、組合員皆様のもとへ帰っていくことでしょう。



別海町植樹祭

緑ある未来を子供たちへ

毎年開催されています別海町主催による植樹祭が5月28日(土)に共和育成牧場において、多数の参加者のもと盛大に開催されました。

当日は強い日差しで暑いくらいの天候に恵まれたなか開催されました。当農協組合員・職員合わせて20人程が参加し、0.54haの土地にアカエゾマツ1350本の植樹を行いました。

筐の根が固く張りめぐらされ傾斜もあり力を必要とする場面がありましたが、皆さん額に汗を流しながら作業し無事にすべての苗木を植樹することができました。



退職にあたって 山田 幸夫



退職にあたり一言お礼を申し上げます。
農繁期に入り組合員の皆様におかれましては、多忙な毎日をお過ごしのことと推察申し上げます。私この度、6月17日の(有)ジェイエー・ワンプの取締役会にて専務取締役に選任され、6月30日を以って農協を退職し、移籍することになりました。

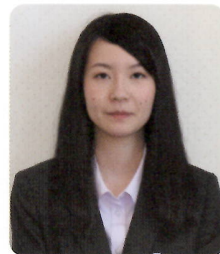
昭和56年に農協に奉職以来、36年の永きに亘り勤務できましたことは、ひとえに組合員皆様をはじめ役職員の方々の公私にわたる温かいご指導、ご支援の賜と心から厚く感謝申し上げます。

職員時代は、各部門で仕事をさせていただき、組合員の皆様にはご迷惑をお掛けした事も多々あったと思いますが、組合員に係る事業、農協事業に係るものなど、新たな事業の取り組みや仕組み創りに数多く携われ、様々な経験と勉強をさせていただき有難うございました。農協を退職すること一抹の寂しさはありますが、今後は農協で培った事を活かし、組合員皆様のご要望に応えられる支援組織の充実を図って参りたいと思っております。

もとより全てに未熟なことばかりで、ご不便をお掛けすることもあるかと思いますが、勇退された猿谷専務が会社設立以来、築き上げてきたものを継続すると共に、より一層信頼される会社運営にあたってまいり所存でございますので、今後ともご指導の程よろしくお願いいたします。

終わりに組合員皆様、役職員皆様のさらなるご活躍とご健康をご祈念申し上げ退職の挨拶といたします。

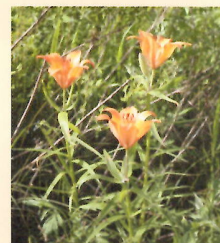
退職の挨拶



永洞 法子

6月30日をもちまして中春別農協を退職致しました。

在職中は公私にわたり何かとお世話になり、まことにありがとうございました。折々の出会いや温かいお心遣いはいつまでも忘れることはできません。ありがとうございました。



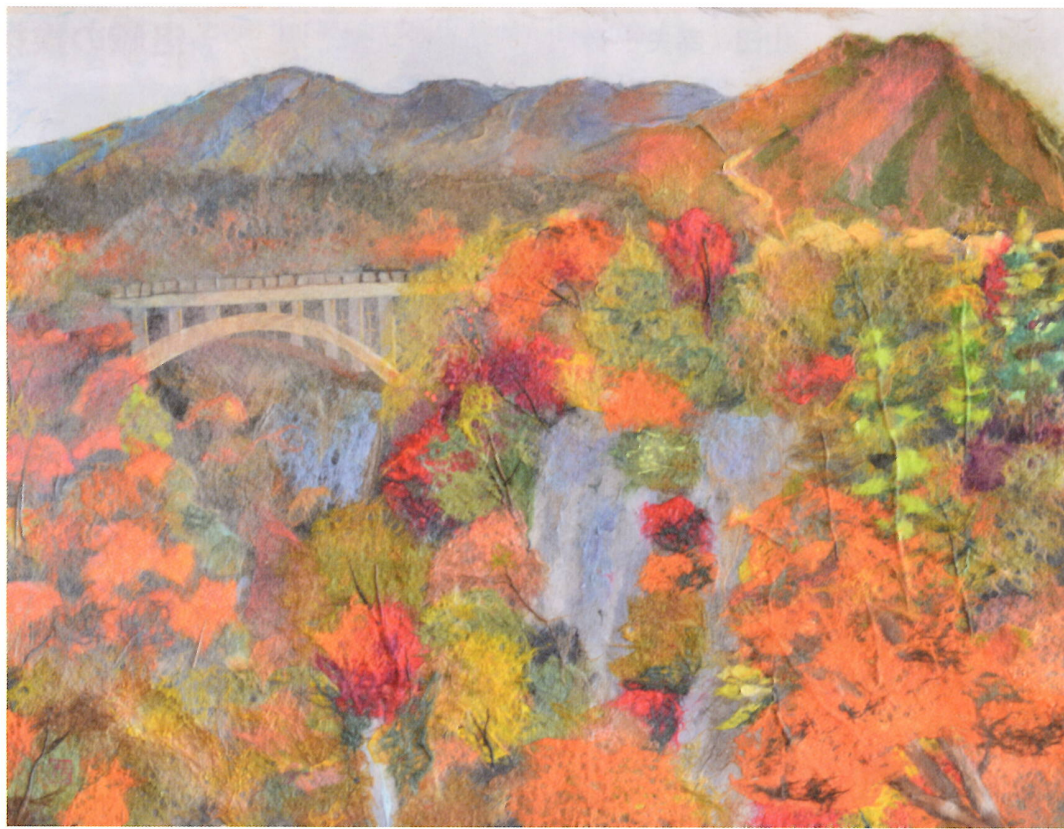
1番草収穫作業がスタート

春先は温かい日が続き牧草の生育も順調に推移していましたが、6月に入り低温・長雨が続き、例年よりも1週間程遅い6月27日より中春別の1番草収穫作業が本格的にスタートしました。牧草の収量は例年の8～9割程度との声があり、今後の粗飼料不足が懸

念されます。1番草収穫も終盤に差し掛かり、酪農家にとって1年間でもっとも忙しい収穫期を迎え、睡眠不足や疲労困ぱいの中での作業が続いていると思いますが、農作業事故には十分に注意し良質粗飼料の確保に努めましょう。



組合員の 広場



作品名「鳴子峡」by渡辺ちずこ



作品名「輝樹」by南澤明子

今回の組合員の広場は「和紙絵香彩会」の作品を掲載いたしました。
組合員の広場では習字や俳句、短歌、絵画、写真など多数の作品を募集しております。皆様振興課 丸山までお気軽にご連絡ください。

平成 28 年度

中春別農協・各組織役員名簿

組 織 名	役 職	氏 名	組 織 名	役 職	氏 名
理 事 会	代表理事	小西 湊 保	中春別農協 年金友の会	監 事	山本 まり子
	副組合長	西川 藤 川 寛		会 長	高橋 昌 晴
監 事 会	専務理事	佐藤 山 武	中春別乳牛 改良同志会	副 会 長	高田 口 昌 正
	常務理事	大藤 倉 倉 紀		副 會 長	尾形 間 春 雄
総務経済委員会	委 員	望月 英 彦	農事組合長会	代 表 監 事	鈴木 木 郁 夫
	委 員	西川 藤 紀		副 代 表 監 事	中山 村 口 之 進
営農生産委員会	委 員	藤倉 紀 夫	中春別乳検組合	会 長	竹田 潤
	委 員	伊山 一 浩		副 會 長	山田 晃 嗣
労 務 委 員 会	委 員	小西 湊 保	良質生乳生産 推進委員会	副 會 長	久保 長 史 修
	委 員	西川 藤 武		委 員	浮牧 山 修 吉
中春別酪農 対策協議会	会 長	伊藤 邊 吉 覚	中春別農協青年部	部 長	斎藤 清 武
	副 會 長	渡川 橋 真 寛		部 長	山崎 紫 真 貴
中春別農協女性部	委 員	高橋 川 真 寛	中春別農協女性部	副 部 長	馬場 南 道 子
	委 員	西川 藤 武		副 部 長	望月 神 佳 子
中春別農協青年部	委 員	伊藤 邊 吉 覚	中春別農協女性部	委 員	藤原 藤 倉 紀 夫
	委 員	渡川 橋 真 寛		委 員	伊藤 小 佐 中 紫 浮 長 高 石 片 平 浮 上

組織名	役職	氏名	組織名	役職	氏名
良質粗飼料生産利用対策委員会	委員長 副委員長 委員	長 長	豊原連合会	会長	青野芳樹
		員 員	副会長	酒井孝英	
		員 員	副会長	田口英芳	
中春別地域河川流域環境保全推進委員会	委員長 副委員長 委員	長 長	美原連合会	会長	野井孝英
		員 員	副会長	岡間武聡	
		員 員	副会長	天浦神畑	
中春別酪農振興会	会長 副会長 幹事	長 長	中春別町内会連絡協議会	会長	見葉勝
		員 員	副会長	千出田	
		員 員	副会長	高伏見	
豊原酪農振興会	会長 副会長 幹事	長 長	離農跡地活用検討委員会	代表理事	小西湊
		員 員	副代表理事	西藤倉	
		員 員	理事	望月山	
美原酪農振興会	会長 副会長 幹事	長 長	(有)中春別マシンセンター	代表取締役	小西湊
		員 員	専務取締役	佐藤西	
		員 員	専務取締役	遠山山	
中春別酪農振興会	会長 副会長 幹事	長 長	(有)ジェイエー・ワンプ	代表取締役	小西湊
		員 員	専務取締役	山西望	
		員 員	専務取締役	伊佐原	
中春別酪農振興会	会長 副会長 幹事	長 長	農事組合法人中春ミルクファーム	代表理事	藤西倉
		員 員	副代表理事	望月荒	
		員 員	理事	望月荒	
中春別酪農振興会	会長 副会長 幹事	長 長	別海町農業委員	委員長	藤望月
		員 員	副委員長	倉村中	
		員 員	副委員長	遠馬尾	
中春別酪農振興会	会長 副会長 幹事	長 長	JA中春別酪農ヘルパー利用組合	組合長	高田本
		員 員	副組合長	根松本	
		員 員	理事	兼松本	
中春別酪農振興会	会長 副会長 幹事	長 長	中春別酪農サポート協議会	会長	南澤高
		員 員	副会長	高小久	
		員 員	理事	小川坂	